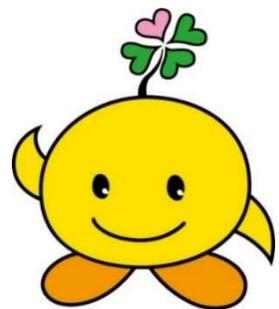


令和5年度 事業計画書



市町を越えた社協同士のつながり・絆
(台風15号災害ボランティアセンター運営)



磐田市社会福祉協議会
マスコット
キャラクター ふくぴー

社会福祉法人磐田市社会福祉協議会

＝ 目 次 ＝

項 目		ページ
【目次】		1
【令和5年度社協組織体制】		2
【基本理念】【基本方針】【重点目標】		3
【令和5年度の注目事業と視点】		4
【実施項目】		
No.	事 業 名	ページ
1	法人運営事業	5
2	企画広報事業	7
3	地域福祉事業	8
4	ボランティアセンター運営事業	11
5	共同募金配分金事業	12
6	小口福祉資金貸付事業	13
7	福祉相談事業	13
8	成年後見事業	13
9	介護保険事業	14
10	受託事業	14
11	団体事務受託事業	15

令和5年度社協組織体制

(単位：人)

役員等	理事	12				
	監事	2				
	評議員	33				
	顧問	1				
事務局	部署等	正規	嘱託	臨時	計	
	常務理事 兼 事務局長		1		1	
	地域福祉課 課長	1			1	
	地域福祉課	総務係	4	1		5
		地域福祉係	5		3	8
		生活支援係	8		1	9
		成年後見支援センター	2			2
		磐田市社協ケアサービス	3	7		10
		福田地域包括支援センター	3	1		4
	計	26	10	4	40	
令和4年度 (R5.1.1時点) 計	25	7	4	36		

*R5.9.1現在

*社協職員の実数は39人 (R4は36人：R5.1.1現在)。

*成年後見支援センターの正規職員2人のうち1人は市職員。

*生活支援係の正規職員1人は、市磐田市くらしと仕事相談センター運営事業共同受託により、天竜厚生会へ出向。

*地域福祉係の臨時事務員1人、臨時サロン指導員2人を含む。

*生活支援係の臨時通訳1人を含む。

*必要に応じて所属間の連携、応援体制をとる。

【基本理念】

やさしさ ふれあい 支え合いのまちづくり
～ 安心できるまち 磐田 ～

【基本方針】

新型コロナウイルス感染症の拡がりや長期化により、経済活動だけでなく地域の様々な活動が休止や自粛を余儀なくされ、高齢者等の孤立や生活困窮者の増加等の地域課題が深刻化しています。

また、令和4年度の台風15号により被災された住民の生活再建や困りごと支援も視野に、今まで以上に『つながりの維持』や『生活課題』に対応した取組みが求められています。

このような状況の中、令和5年度からスタートする第4次磐田市地域福祉計画・地域福祉活動計画で掲げた使命を達成するための3つの基本目標（地域福祉を担う人づくり・ふれあい、支え合い、助け合いの地域づくり・自立した生活を送れる支援体制づくり）に沿って効率的な事業運営を進めていきます。

「地域福祉を担う人づくり」は、地域福祉人材養成講座を柱に、地域福祉活動の新たなキーパーソンを発掘していきます。「ふれあい、支え合い、助け合いの地域づくり」では、改めてボランティア活動の拠点として相談できる場、情報を発信する場、災害ボランティアの活動の場としての機能強化に努めます。「自立した生活を送れる支援体制づくり」では、磐田市生活困窮者自立相談支援事業の共同法人での新たな受託や、本会が行う法人後見事業の充実実施、市民後見人への移行促進に加え、令和4年度から受託した磐田市成年後見支援センターの事業実施体制を強化していきます。

介護保険事業や地域包括支援センターの運営事業においては、利用者の権利と人格を尊重し、住み慣れた地域で自分らしい生活を営むことができるよう自立支援に資する質の高いサービスや相談援助を提供するとともに、関係機関や地域住民等と連携を図ることで、福祉・介護・相談の拠点として地域に貢献できる事業所、組織を目指します。

【重点目標】

- 1 地域福祉を担う人材の育成と活動支援
(福祉への関心を高め、人材の養成・フォローアップ講座の開催)
- 2 自立した生活を送ることができる支援体制づくり
(成年後見事業や生活困窮者支援の充実実施)
- 3 行政や福祉関係機関との連携強化
(第4次地域福祉活動計画の推進と各種事業の方向性共有)
- 4 業務効率化の推進による柔軟な事業運営態勢の整備
(ICT活用による業務の効率化や事業評価等に基づく事業の見直し推進)

【令和5年度の注目事業と視点】

住民参加による「地域福祉活動計画」の推進及び人材養成

「地域福祉活動計画」は、住民や福祉関係機関などがお互いに協力し、市の「地域福祉計画」と一体的に推進しています。福祉ニーズの増大・制度のはざまへの対応など、変動する社会情勢に応じた支え合いの仕組み作りが必要な時代となっています。そのような中、地域住民が可能な範囲で助け合うとともに、各関係機関が協働し、支え合いによって課題解決を支援・促進する人材養成の各種講座を行います。学びの中で住民の力と社会資源を調整し交渉できる能力を高め、技術と考え方を習得し地域福祉活動に活かしていただけるよう支援します。

後見人担い手の確保と権利擁護検討会の設置

成年後見制度の利用の増加が見込まれる中で、社会貢献の意欲の高い市民が、新たな制度の担い手として活躍できるよう市民後見人養成事業を実施します。

また、後見制度の適正な運営のために、親族後見人や市民後見人等への研修の実施や、権利擁護支援チームによる見守り等により、トラブルの未然防止に努めます。

さまざまな生活支援の相談ケースの中で、権利擁護支援が必要なケースの検討や専門職を含めた相談、成年後見申立に係る受任調整の場として検討会を設置・運営します。

大規模災害を想定した平時からの人材育成とネットワークづくり

令和4年9月に発生した台風災害時には、災害救援のノウハウを持った団体や多くのボランティア、企業等の協力により、被災者の生活再建の支援を進めることができました。大活躍した災害ボランティアコーディネーターや災害支援をきっかけに集まった様々な立場の人の力を結集し、災害時のボランティア活動だけでなく、幅広い地域活動への参加にもつながるよう、関係機関や団体と連携して、相互のつながりづくりと活動参加のきっかけづくりに取り組んでいきます。

『生活困窮者自立相談支援事業』の共同法人受託 ～【新規】磐田市くらしと仕事相談センターの運営～

「磐田市社会福祉法人連絡会」の設立から5年が経過し、『福祉なんでも相談窓口』や福祉教育の協働、磐田北高等学校福祉科と社会福祉法人連絡会との連携、せいかつ応援倶楽部の団体登録、合同研修会の開催等、法人同士の連携も深まってきました。

今年度新規受託事業として、生活に不安を抱える世帯が困窮状態から脱却することを支援するため、天竜厚生会と磐田市社会福祉協議会が、共同法人で本事業を受託することとなりました。両法人の強みを活かし、地域福祉ともリンクした事業展開を模索する中で、より市民から必要とされる社会福祉法人を目指していきます。

1 法人運営事業

ICT を活用して業務の効率化を図り、事業の重点化と働きやすい職場環境づくりに努めます。

項 目	事業内容等
1) 本所運営事業 (総務・財務)	① 本所の運営
	② 各種会議の運営 ・ 理事会、評議員会、三役会議、評議員選任・解任委員会 ・ 専門部会（法人運営部会、地域福祉推進部会、生活支援推進部会） ・ 資金管理委員会、法人後見運営委員会 ・ 社協だより編集会議（年4回）
	③ 監査の実施 ・ 監事監査（年2回） ・ 内部監査（定期監査・臨時監査） ・ 顧問税理士による外部監査
	④ 職員会議の実施 ・ 事務事業調整会議（月1回） ・ 再発防止対策実行委員会（年1～2回程度）
	⑤ 規程等の改廃事務
	⑥ 各種計画等の推進 ・ 第4次地域福祉活動計画の推進（R5～R8年度・4か年）
	⑦ 事務事業評価（年1回）による事業の検証
	⑧ 中長期財政見通し及び第3次経営改善計画の策定
	⑨ 再発防止具体策の継続実施
	⑩ 苦情受付対応
	⑪ 各種法改正への対応
	⑫ 一般・賛助会費の募集
	⑬ 寄附金の受付
	⑭ 承認社会福祉充実計画に基づく事業実施 ⑮ マイクロバス2台運行

項 目	事業内容等
1) 本所運営事業 (総務・財務)	<p>⑩ 磐田市共同募金委員会として静岡県共同募金会募金募集業務へ協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 磐田市共同募金委員会運営委員会の開催（7月） ・ 赤い羽根共同募金運動（募金の周知・募集、活動促進等）の実施 <p>⑪ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイクロバス、車輛（福祉車輛含む）の点検・整備 ・ 貸出用車椅子の整備 ・ 災害義援金の募集 ・ 相談援助技術現場実習生（社会福祉士受験資格取得課程）受入れ
2) 職員設置費 (労務・人事・職員育成)	<p>① 職員健康診断（6月）、ストレス診断チェック（8月）の実施</p> <p>② 人事評価制度の運用</p> <p>③ 職員研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンスの徹底に関する研修 ・ 職員全体研修（法人全体交流研修、プロジェクト等含む。） ・ マネジメント能力向上に係る研修（外部研修） ・ 他組織との交流実施検討 <p>④ 職員資格取得助成制度の活用推奨</p>
3) i プラザ貸館業務	① ふれあい交流室及び研修室の貸館業務の受託
4) 生活福祉資金相談事業	① 県社協受託事業（貸付事務及び相談等体制整備事業）
5) 防災体制整備事業	<p>① 大規模災害に対応できる組織基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市、県及び関係機関・団体との連携強化 ・ 災害ボランティアセンターの運営に係る市、県等との調整 ・ 関連マニュアルに基づく訓練の実施（12月） ・ 災害ボランティアセンター運営での情報発信とICT活用検討 ・ 防災用品及び災害ボランティア活動資機材の計画的整備 ・ 磐田青年会議所との「災害時における協力体制に関する協定」締結 ・ 玉野市社協、駒ヶ根市社協との相互支援協定に基づく連携 ・ 令和4年度台風15号災害の経験に基づく災害時初動体制の見直し（災害時事業継続計画（BCP）の見直し策定） <p>② ボランティアや支援団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害ボランティアコーディネーターのグループ活動の支援 ・ 災害ボランティアコーディネーターの実践力の強化 ・ いわた減災ネットワーク連絡会への参加協力 ・ 専門ボランティアと災害ボランティアとの交流講座 <p>③ 関係機関・団体との災害時における相互応援協定締結</p>

2 企画広報事業

SNS等 様々な媒体を効果的に活用して社協事業の見える化を図り、幅広い年代、より多くの住民との双方向のコミュニケーションができるよう努めます。

項目	事業内容等
1) 社協だより発行事業	① 社協だよりの年4回(6、9、12、3月予定)発行と内容の充実
2) マスコットキャラクター啓発事業	① 社協キャラクター「ふくぴー」及び関連グッズの有効活用
3) ホームページ等事業	① ホームページへの最新情報の掲載等、定期的な更新作業の実施
	② 傾向分析による新規ページ追加の検討
	③ アクセス解析による閲覧者の傾向分析
	④ 災害関連情報専用ページの活用
	⑤ SNS(フェイブック等)を活用した情報拡散による広報
4) 社会福祉大会	① 磐田市社会福祉大会の開催(2月)
5) 地域福祉ニーズ把握事業	① せいかつ応援倶楽部を中心とした、個別生活課題のニーズ把握
	② 生活支援体制整備事業による地域状況の見える化と支援ニーズ把握
	③ 『福祉なんでも相談窓口』設置による地域ニーズ把握
	④ 日常生活自立支援事業や法人後見事業からのニーズ把握



◀ ふくぴー「しっぺい感謝祭」に参加 ▶



◀ 社協だより ▶

3 地域福祉事業

社会情勢の変化に対応できる 地域福祉活動の推進、人や地域のつながりを大切に
し、支え合いや助け合い支援に努めます。

項 目	事業内容等
1) 地区社協事業	① 地区社協等（地域づくり協議会福祉部会又は地区社会福祉協議会）の活動支援と財政支援 ② 地区社協等連絡協議会の運営（年3回） ③ 地区担当兼生活支援コーディネーター（SC）との連携協働 ・地域せいかつ応援倶楽部の普及促進・運営支援 ・自治会長、民生委員・児童委員、福祉委員等経験者の人材活用促進 ・地区社協等の趣旨に賛同した住民が参画できる活動の支援 ④ 地区担当兼SCの機能強化（連絡会月1回）
2) 福祉委員制度	① 福祉委員会連絡協議会の運営、地区社協等連絡協議会との合同実施（年3回） ※第2回・第3回は合同開催 ② 地区社協等の傘下で活動する福祉委員活動への支援 ③ 地域の団体や他の委員との連携による見守り体制づくり支援 ④ 福祉委員の研修支援の充実
3) 人材養成講座	① セーフティドライブ講習会の開催 ② ほっとな地域づくり仕掛け人と磐田市ボランティア登録制度の統合についての検討 ③ 福祉教育サポーター連絡会（年3回）、みんなの福祉教育（年1回）の開催 ④ サロンボランティアスキルアップ講座（年1回） ⑤ こころに寄りそうボランティア研修会の開催とネットワークづくり（年1回） ⑥ 壮年熟期活躍プロジェクト『社会参加促進講座』1交流センターで開催 ⑦ 講座修了者および自主グループの活動コーディネート支援 ⑧ 他機関、団体と連携した福祉の心育成事業の充実 ⑨ 地域向けICT活用研修会の開催 ⑩ 地域福祉人材養成講座 ⑪ ひきこもり支援に関わる人材養成
4) せいかつ応援倶楽部 （住民参加型生活支援事業）	① せいかつ応援倶楽部事業の実施推進と地域との連携強化 ② せいかつ応援倶楽部地域支援員連絡会（年2回） ③ せいかつ応援倶楽部地域支援員説明会（年2回） ④ 地域せいかつ応援倶楽部懇談会（年1回）

項目	事業内容等
5) 子育て支援事業	① 子育てサロンの充実と子育て支援員の活用促進 ② 地域主体の子育て支援事業の模索と支援 ③ 子育て支援関係者との連携
6) 介護予防地域事業	① コロナ禍も考慮した高齢者サロンの充実と介護予防のための情報発信 ② 高齢者サロンボランティアの育成と活動促進 ③ サロン指導員による訪問、活動支援、立ち上げの支援 ④ 地区社協等と高齢者サロンの連携促進 ⑤ 高齢者サロン代表者連絡会（年2回） ⑥ 配食ボランティア活動の支援
7) 福祉車両等貸出事業	① 福祉車両貸出（2台）※現在3台 新規車両導入後2台廃車予定 ② 車いす貸出事業（公的制度外の一時的な利用ニーズに対応）
8) 障害者福祉事業	① こころに寄りそうサロンの充実とボランティアのスキルアップ ② みんなの福祉教育による啓発活動
9) 福祉教育事業	① 市内園・校への福祉の心育成事業助成金交付 ② 地域の福祉教育支援、福祉教育サポーターと共に学校出前講座の提供 ③ 福祉お助け用品の貸出 ④ ピクトグラム作品募集



◀ 福祉委員会連絡協議会 ▶



◀ 福祉教育 学校出前講座 ▶

項 目	事業内容等
10) 地域福祉活動計画	❶ 第4次地域福祉活動計画の推進（R5～R8） ・ 地域福祉推進会議での年度ごとの計画評価、進捗管理 ❷ 地域福祉懇談会やアンケートを活用した地区別の活動推進の支援
11) 生活支援体制整備	❶ 生活支援体制整備事業の市との協働 ❷ 第1層生活支援コーディネーター（SC）の配置 ❸ 第2層生活支援コーディネーター（SC）の配置 ❹ SCと地区社協等と包括等関係団体の協働による第2層協議体の開催 ❺ 市内社会福祉法人連絡会(プロジェクト等)の開催 ❻ 『福祉なんでも相談窓口』設置による法人施設との連携 ❼ 団塊世代や壮年熟期を対象とした地域福祉活動者の活動促進 ❽ 住民参加型生活支援事業“地域せいかつ応援倶楽部”の活動支援 ❾ 福祉関係機関（市民児協、相談機関、福祉施設等）との連携強化 ❿ 生活支援コーディネーターNEWS（通信）の発行 ⓫ 社会参加の場(通いの場、居場所等のインフォーマルサービス)の把握 ⓬ （仮称）市自立支援事業への協力
12)集まれなくてもつながる仕組みの支援	❶ 既存の地域福祉活動団体（サロン等）へのつながりの継続支援 ❷ Zoom等を利用した各種会議や打ち合わせの開催 ❸ Zoom等を利用した福祉教育や人材養成講座等の開催



◀ 地域福祉懇談会 ▶



◀ZOOM 併用で開催したみんなの福祉教育▶

4 ボランティアセンター運営事業

センターの機能強化を通して地域のボランティア・市民活動団体の支援をします。

項目	事業内容等
1) ボランティアセンター運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティアセンターの施設利用促進 目標：利用件数 1,300 件以上 ② ボランティア相談充実とコーディネート力向上 目標：130 件以上 ③ 磐田市ボランティア登録制度を通じた市民活動センターとの協働とボランティア活動の活性化 ④ 磐田市ボランティア登録制度のホームページを活用した情報発信 ⑤ 労働者組織や大学、専門学校等との事業連携強化 ⑥ 小中学生、高校生、大学・専門学校生、一般ボランティア活動の場の確保と情報提供 ⑦ 福祉施設へのボランティア受入状況の確認とボランティア担当者連絡会の開催 ⑧ ICT に対応できるボランティア人材の育成 ⑨ ほっとな地域づくり仕掛け人と磐田市ボランティア登録制度の統合についての検討
2) ボランティア団体支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア連絡協議会運営支援 ② ボランティア連絡協議会加入促進 ③ ボランティア・福祉団体の把握とネットワークづくり
3) ボランティア活動保険加入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ① ボランティア活動保険加入促進



◀ 磐田市ボランティア登録制度 ▶



◀ ICT に対応できる人材育成講座 ▶

5 共同募金配分金事業

皆様の“やさしさ”を、募金を通じて、支援を必要とされる方々に届けます。

項目	事業内容等
1) 一般募金配分事業	① 地域せいかつ応援倶楽部助成事業
	② 配食サービス事業費助成事業
	③ 児童遊び場整備事業
	④ 福祉教育事業
	⑤ 地域福祉人材育成講座事業
	⑥ 福祉教育サポーター養成事業
	⑦ 精神障害者サロン
	⑧ 社協だより発行事業
	⑨ 福祉お助け用品貸出事業
	⑩ 福祉団体活動助成事業
	⑪ 社会福祉大会
	⑫ 福祉団体交流事業
	⑬ 生活困窮者支援事業
	⑭ 災害ボランティア活動支援事業
2) 地域歳末たすけあい募金配分事業	① 生活困窮世帯への歳末支援金配付の実施
	② 福祉団体等への年末年始地域福祉活動への助成事業



◀ 子育てサロン「うさぎっこ」 ▶



◀ 災害ボランティアコーディネーター ▶

6 小口福祉資金貸付事業

貸付事業を通して、生活に困窮された方が自立した生活を営めるよう支援します。

項目	事業内容等
1) 生活困窮者の貸付相談	① 県社協生活福祉資金、市社協小口福祉資金の貸付相談事業の実施
	② 関係機関および民生委員・児童委員との情報共有と連携強化
	③ フードバンク等からの食糧支援の実施
	④ 生活困窮者の自立支援に関係する機関との連携強化
2) 借受人の償還指導	① 借受人の生活状況の確認と貸付金償還指導の実施

7 福祉相談事業

誰もが安心して幸せな生活を送れるよう、相談支援をします。

項目	事業内容等
1) 福祉なんでも相談	① 福祉なんでも相談の実施（本所正規職員が相談対応）
	② 職員の相談援助技術の向上
2) 結婚相談	① 結婚相談事業の実施
	② 4市社協結婚相談事業との連携

8 成年後見事業

認知症や知的・精神障害等により判断力が十分でない方の自己決定の尊重を支援するため、成年後見事業を推進します。

また、市民後見人への移行と後見監督人の受任に対応するための体制整備を進めます。

項目	事業内容等
1) 成年後見事業	① 成年後見事業（法人後見）の実施
	② 市民後見人への移行促進
	③ 後見監督人として市民後見人業務の確認と支援

9 介護保険事業

社協が行う介護保険事業等のあり方を再確認します。

項目	事業内容等
1) 磐田市社協 ケアサービスの経営	① 介護保険事業（居宅介護支援事業）の経営安定化とサービス向上
	② 他職種や他機関との連携強化
	③ 多重問題を抱える利用者への積極的支援
	④ 介護支援専門員の質の向上

10 受託事業

県社協や市からの受託事業により、関係機関との連携強化に取り組み、市民の幅広い福祉ニーズに対応していきます。

項目	事業内容等
1) 日常生活自立支援事業	① 日常生活自立支援事業の実施（相談、契約・支援計画に基づく支援）
	② 生活支援員連絡会の実施（年1回）
2) 生活福祉資金相談事業	① 生活福祉資金貸付相談
	② 借受人の償還指導の実施、生活状況の確認
3) 福田地域包括支援 センターの運営事業	① 包括的支援事業 （総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント）
	② 認知症総合支援業務
	③ 在宅医療・介護連携推進事業
	④ 介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防ケアマネジメント、一般介護予防事業）
	⑤ 多職種協働による地域包括支援ネットワーク
4) 成年後見支援センター 運営事業	①【広報】 権利擁護講演会、成年後見制度利用促進セミナー
	②【相談】 権利擁護相談、申立相談・支援、利用促進協議会の運営
	③【利用促進】 権利擁護検討会（受任調整）、市民後見人養成・支援
	④【後見人支援】 権利擁護支援チームの設定、親族後見人活動支援
5) 生活困窮者自立相談 支援事業	①生活困窮者自立相談支援事業の共同法人受託 『磐田市くらしと仕事相談センター』の運営
6) iプラザ会議室貸出	① ふれあい交流室及び研修室の予約受付と貸出

11 団体事務受託事業

団体運営の支援を通して、活動しやすい環境づくりと連携促進を図ります。

項目	事業内容等
1) シニアクラブ磐田市 事務局事務	① シニアクラブによる健康・友愛・奉仕活動の支援
	② 組織活性化と基盤強化のための取り組み支援
	③ 小地域での連携による見守りや介護予防、社会参加活動の支援
2) 磐田市ボランティア 連絡協議会 運営支援	① 組織基盤の強化と自立運営の支援
	② 団体間の連携づくりのためのネットワーク活動の支援
	③ 未加入団体の加入促進・活動支援
	④ ボランティアだよりの内容充実と情報発信



◀ シニアクラブ磐田地区芸能広場 ▶



◀ ボランティア連絡協議会 講演会 ▶